

当日回答が保留になっていた意見要望等を関係する委員会で話し合った結果について

検討機関	意見要望等	話し合った結果
放射能対策検討特別委員会	ホールボディカウンタの導入、定期的な健康調査を継続してほしい。	放射能対策検討協議会（全議員で構成）では、導入や健康調査を含む要望書を8月31日に市長へ提出し、放射能汚染に対する対策強化を求めました。9月定例会ではホールボディカウンタの導入を取止める代わりに福島県のひらた中央病院で検査する結果となりましたが、市民の安心安全が得られるよう、引き続き助言要望を行っていきます。
	除染計画の進捗状況（除染方法、仮置き場、保管方法等）はどうなっているのか。また、国庫補助対象外の除染メニューについて、市独自で行う考えはあるのか。	必要毎に執行部に説明を求め、除染計画の進捗状況を確認するとともに、市民への周知徹底を求めています。市独自の除染（表土除去）を盛り込んだ住宅の除染が10月から開始しています。詳しくは、10月20日号広報や「除染センター」（TEL0287-65-1115）に確認してください。
	那須塩原市版「放射線等に関する副読本」を作成してほしい。	教職員への放射能教育、児童向けの放射能教育に関する事業が今後実施されることになるので、内容等、慎重に審査してまいります。
	食品検査の測定方法・公表について安心できるような工夫をしてほしい。	効果的な運用がなされるよう、引き続き助言要望を行ってまいります。
議会活性化検討特別委員会	充実した内容報告をしてほしい（視察し、どう市政に反映させるかなど、題目だけでなくコメントを入れてほしい）。	内容の充実、報告の仕方など市民への説明責任が果たせるよう検討してまいります。
総務企画 常任委員会	東日本大震災時の被災者の受入れ状況について	3月17日から4月30日まで、西那須野地区の健康長寿センターにて、最大時には160人を受け入れている。
	自主防災組織の編成率が約3割と編成が進まない。未組織自治会に対し指導すべきではないか。	議会一般質問で議員が取り上げるなど、議会でも組織編成率の向上を願っています。ただし、議会として自治会に指導する立場にないことはご理解いただきたいと思います。
	名誉市民の選考基準について	条例に基づき市長が推挙し、議会はそれに対し同意をするものです。
産業環境 常任委員会	赤田地区の産業廃棄物施設への監視体制の強化等、市と議会が一体となった対応を検討してほしい。	那須地域環境対策連絡協議会との意見交換を行っている産業廃棄物対策協議会幹事会へ引き続き検討するよう伝え、同幹事会からは了承を得ております。
	転作作物補償額の算定基準を確認したいが、市や農協にきいてもはっきりしない。	地域農業再生協議会や地方農政局大田原地域センター（TEL0287-23-5611）に再度確認してください。
建設水道 常任委員会	新幹線駅前（那須塩原駅）が発展しないのはなぜか。行政視察をしているならそれらを活かすよう真剣に取り組んでほしい。	地域に見合う発展の在り方を考慮した取り組みが必要。今後とも先進地の取り組みなどを参考としながら調査・検討してまいります。